千葉市における
自動運転モビリティ等の取組み

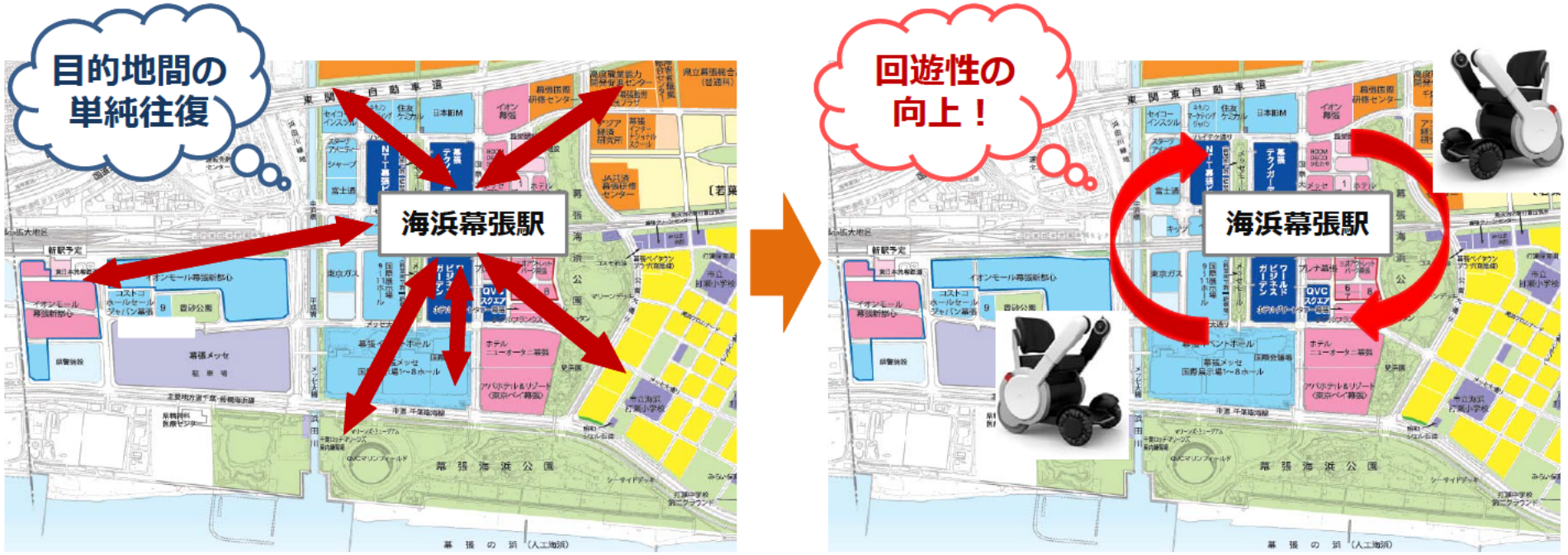
2020年5月

千葉市 CHIBA CITY

自動運転モビリティ導入の目的

千葉市 CHIBA CITY

幕張新都心の課題「回遊性の向上」



○施設間に一定の距離があり、
来街者の多くがJR海浜幕張駅と目的施設との**「単純往復」**となっている

自動運転モビリティ等のシェアリングサービス導入により、
拠点間の移動負担を軽減することで**回遊性の向上**、**賑わい創出**を図る。

近未来技術等の社会実装サポート

千葉市 CHIBA CITY

近未来技術を活用した技術実証やサービス実証等をサポートします!!

1．実証に係る相談支援

○関係団体、関係省庁等の**ステークホルダーとの協議・調整**
○実証フィールドの確保（公共施設･公共用地の提供）

2．財政的支援（本市が掲げるテーマに対して、公募により選定）

○実証実験等の実施に係る**経費の一部を補助**（テーマごとに補助額の上限あり）
※R1.5　千葉市近未来技術等社会実装促進事業補助金 創設

3．国家戦略特区を活用した規制改革

○新たなビジネスを実現するための**法規制を特区活用により突破**

ドローン宅配:楽天㈱

自動運転:ＳＢドライブ㈱

次世代ﾓﾋﾞﾘﾃｨ:㈱ＮＴＴドコモ

千葉市 CHIBA CITY

パーソナルモビリティ試乗体験ツアーの実施

【実施主体】千葉市（協力：WHILL（株））
【走行車両】WHILL（Model A・C）
【実施日時】2017年8月6日
【実証内容】ショッピングモールのモール間
（約600m）の屋外（公道）での
試乗体験を実施（操作は搭乗者が行う）

次世代パーソナルモビリティを活用した実証実験

【実施主体】（株）NTTドコモ（技術協力：アイシン精機（株）、千葉大学）
【走行車両】ILY-Ai（次世代パーソナルモビリティ）
【実施日時】2019年12月10日～12日
【実証内容】ショッピングモール（屋内）での自律走行
非GPS環境下での位置測位の精度検証
乗り捨てを想定した無人回収、カメラ認証による不審物検知

※その他、WHILL（電動車いす）を活用した市民向け個宅リースや来街者向け
シェアリングサービスを実施（2019.10～11）

千葉市 CHIBA CITY

自動運転ロボットを活用した千葉市動物公園での取組み

【実施主体】（株）ZMP
【走行車両】ＲａｋｕＲｏ™（ラクロ）

（１）次世代モビリティによる自動運転体験イベントの実施
【実施日時】2020年4月4日～12日※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期
【実証内容】障害物検知機能、自動停止・自動回避機能を用い、予め設定したルートを自動運転により走行（1周約350m、約10分）

（２）オンライン動物園の開設
【実施日時】2020年5月17日（日）
【実証内容】オンラインユーザーが1人1分ずつの早押し方式で自動走行中のラクロを遠隔操縦。その間、360度ビューで園内のリアルタイム映像と動物ガイドをライブ配信。

【担 当】
千葉市 総合政策局 未来都市戦略部 国家戦略特区推進課

〒２６０－８７２２
千葉市中央区千葉港１番１号（市役所本庁舎５階）

ＴＥＬ：０４３（２４５）５３４６
ＦＡＸ：０４３（２４５）５５５１
Ｅメール：tokku.POF@city.chiba.lg.jp